

2020 年度実施概要

学校名

新居浜市立宮西小学校

採択活動名

海の恵みで発展してきたふるさとを学ぶ～多喜浜塩田を未来に伝えよう～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 水はどこから ～使った水はどうなるの～	4年生	総合
2. 多喜浜塩田を学ぶ	6年生	総合
3.		

取り組みの概要

本校では、「心豊かでたくましく、共に生きる子どもの育成」を学校の教育目標に設定し、なかよく、楽しく、笑顔があふれる学校づくりに努めている。新居浜市の中心部に位置する本校児童にとって、人や地域との繋がりが希薄化する傾向にある。今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、各種行事が例年通りに行えなかったが、2学期以降に内容の変更や精選を行い、できる範囲で行った。児童は、実際に地域を歩いたり、施設を見学したり、地域の方々と交流したりすることで、自分たちの生活は地域と深く関わっていることに気付くことができた。これらの交流・体験活動等を通じて、児童が地域の人々・文化・自然と積極的に関わることにより、地域を愛し、優しさとたくましさを兼ね備えた持続可能な社会づくりに貢献する人間を育てていきたいと考える。

(1) 水はどこから ～使った水はどうなるの～ (4年生)

「水資源の保持のために、自分たちができることを考える。」をねらいとして、水を大切にするための様々な取組を考えた。子どもたちは、グループで意見交換を行い、森林や川を守ることや水の無駄使いをしないことなどを話し合った。

- ・水不足を伝える新聞記事を読み、水資源の大切さについて学習した。
- ・新居浜の水不足の事例から水資源の大切さについて気付き、調べ学習を行った。その後、水道水質検査センターと下水処理場へ行き、残留塩素を測定する実験や水がきれいになる過程などを見学して、水資源についての理解を深めた。
- ・水資源の大切さに気付き、節水や水を汚さないようにするために自分たちが協力できることを考え、新居浜の「水」のよさを伝えるリーフレットや節水を呼び掛けるポスターを作成した。

**(2) 多喜浜塩田を学ぶ (6年生)**

DVD (多喜浜塩田の歴史) を鑑賞した後、塩づくりの様子や道具について多喜浜塩田資料館推進委員会スタッフの方から詳しく教えていただいた。次に、調べたいテーマを決め資料を基に調べ学習を行った。さらに詳しく知りたいことについては塩資スタッフの方に質問し、理解を深めた。



活動中の写真

【4年生】



【6年生】

